

事務事業名	農業教育推進協議会参画事業				担当	産業部 農政課 農政係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1農業費	2農業総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	地域農業の推進力となる人材を育成するため、真岡北陵高校と農業指導機関及び農業関係諸団体との連携調整を図り、もって時代の要請に即応した農業教育を推進する。学校、郡内1市5町（上三川町含む）、農業協同組合、農業指導機関などの長と同窓会、PTAの正副会長をもって組織。なお、平成26年度からは、同窓会、PTAの正副会長を除く組織に変更。 主な事業・学校と農業指導機関及び農業関係諸団体との連絡調整、農業教育に関する調査研究並びに意見具申、農業教育に関する研究会の開催							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 農業教育推進協議会の運営を図るため1市5町（上三川町含む）及び農業協同組合が分担金を支出し、経営改善指導、インターンシップ、海外農業研修等を実施 31年度計画 30年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	分担金の額	千円	36	37	38	36	36	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 農業教育推進協議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	会員数	会員	14	15	15	15	15	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 関係機関との連絡調整及び事業の充実を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	研修会等の開催数	回	7	7	7	7	7	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域農業の担い手を育成する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	新規就農者数	人	30	21	23	17	11	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	36	37	38	36	36	
	事業費計(A)		千円	36	37	38	36	36	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	
		人件費計(B)	千円	42	42	42	42	42	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	78	79	80	78	78	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和47年に真岡農業（北陵）高等学校農業教育推進協議会が設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	農家戸数、農家人口とも減少しており、担い手不足が問題になっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	